
山梨北中ブロック交流研究会

研究主題 「小中の連携を深め、山梨北ブロックの児童・生徒の指導に生かす」

I 主題設定の理由

山梨北中ブロックの児童・生徒を健全に育てるためには、普段交流の機会の少ない小・中の教職員が共有の活動や話し合いを持ち、教育上の課題を見つけ、より良い解決の方法を探り、連携を深めることが必要だと考える。

本ブロックでは、これまでも同じ地域で学ぶ子どもたちを共に教育するという立場から、共通の教育課題に対して講師を招き、学び合いを行ってきた。その取組を通して、目の前の児童・生徒の指導に生かせる有意義な内容であったと成果を確認し合うことができた。また、小・中の授業参観や研究会についても継続して行ってきたが、児童・生徒の実態の理解が深まると共に、発達段階による特性や各校の特色など交流し合うことができ、その意義を実感できたところである。

今年度も、学習会と授業参観・研究会という交流研究により、本ブロックの児童・生徒理解と小・中連携を深め、各校の指導に活かしていきたいと考え、本主題を設定した。

II 研究の具体的内容

1. 第1回交流研究会(講演会)

- (1) 目的 小中の共通する教育課題について専門的な立場からの話を聞き、学習を深め、児童・生徒の指導に役立てる
- (2) 日時 平成29年8月4日(金) 13:30～
- (3) 内容 学習会(講演会)

演題 「ネット社会に潜む危険性」

講師 山梨県警察本部生活安全部 少年対策官 加藤 克人先生

・DVD の映像をもとに、SNSの危険性やネットに関わるトラブルについて、最近のデータや詳しい事例を教えていただいた。講師の加藤先生がもともと中学の教師というお立場から、教師としてどのような指導をしていく必要があるのか、また日々進化していくネット社会の危険性もわかりやすくお話していただき、大変参考になった。SNSに危機感をもたせるためにも、保護者や児童にも是非聞かせたい内容だった、という感想も多かった。

2. 第2回交流研究会(中学校授業参観)

- (1) 目的 中学校の授業参観を通して生徒の実態や学習活動について知り、情報交換や懇談を通して、小中の連携を強化し今後の教育活動に生かしていく。
- (2) 日時 平成29年11月22日(水) 15:10～授業参観
16:10～学年別研究会
- (3) 場所 山梨北中学校

- (4) 内容 山梨北中学校の授業を参観し、生徒の様子、北中学区でも取り組んでいる家庭学習の様子、小中のつながりなどについて情報交換や意見交換を行う。

3. 第3回交流研究会(小学校授業参観)

- (1) 目的 小学校の授業参観を通して児童の実態や学習活動について知り、研究会における情報交換や懇談を通して、小中の連携を強化し今後の教育活動に生かしていく。
- (2) 日時 平成29年1月17日(水) 14:00～授業参観
15:00～研究会
- (3) 場所 八幡小学校・日下部小学校
- (4) 内容 八幡小学校・日下部小学校の授業を参観し、情報交換や意見交換を行う。

Ⅲ 成果と課題

1. 成果

- ・第1回の交流研究会は、山梨県警察本部生活安全部少年対策官・加藤 克人先生より「ネット社会に潜む危険性」について、ネットに関わるトラブルについて、最近のデータや詳しい事例を教えていただくことができ、大変参考になった。
- ・第2回の交流研究会は北中学校で、第3回の交流研究会は八幡小と日下部小に分かれて授業参観と研究会を行った。中学校の取り組みをブロックの小学校全体で確認することで、中学校につながる指導ができるようになってきた。児童・生徒の授業の様子や学校の特色、先生方の指導法を参観し、自身の指導に活かすことができ、有意義であった。さらに家庭学習とノート指導等とあわせて重視されている「小中連携」を具現化する取り組みとして効果的であった。
- ・交流研究会の際、ある小学校では試みに、「学力向上のために日常の学習指導で心がけていること」「家庭学習」「生活習慣」「スマートフォン・携帯電話」といった共通の課題を設定し、その課題別の協議を行っていた。参観した授業の感想だけでなく、北中ブロックの児童・生徒の課題と感じていることについて、それぞれが意見や情報を交換することができ、大変よかったとの声が多くあった。
- ・今年度、市教委主催で行われている山梨市学力向上推進委員会で「家庭学習」をテーマにして各校の実践報告等があったため、これと同様にブロック交流においても家庭学習の取組が主な議題となって話し合われた。3回のブロック交流と山梨市学力向上推進委員会の内容に合わせることで効果が増した。

2. 課題

- ・夏の学習会では、スマホやネットの問題について学習を深められたが、各校の状況についても情報交換をすることができたらさらによかった、との意見もあった。
- ・家庭学習の取組についてはさらに情報共有を進め、今後はこれまで以上に北中学区として同一歩調で家庭学習の取組ができるとよい。

(ブロック長 岡村 理恵)